

豊橋の豊かさを未来へ継承するために

<http://toyo.pbeins.net/>

5月臨時議会と6月定例議会

今年5月に臨時議会が2回開かれました。15日の臨時議会では、プレミアム付き商品券発行事業費補助金5千万円を支出するという一般会計補正予算、他1件の議案を審議可決しました。プレミアム付き商品券は豊橋商工会議所が発行するもので、これに補助金による1割のプレミアム(おまけ)を付けることにより、4月から始まった定額給付金を市内で消費してもらうことをねらいとしています。また正副議長選挙も行われ、豊橋自民党市議団の大沢初男議員が引き続き議長に、副議長には同市議団の近田明久議員が選ばれました。

29日の臨時議会では、今年6月支給の市長、市議会議員、市職員の期末手当を約10%削減することを決めました。景気減速に伴い、民間の賞与が減少していることに歩調を合わせたものです。

景気対策の大型補正予算

6月議会は6月11日から18日まで開催され、20人の議員が一般質問をした他、11の議案が審議可決されました。今回の特色は景気対策のための異例の大型一般会計補正予算として、約16億円が21年度予算に追加されたことです。その主な財源は地域活性化・経済危機対策臨時交付金と学校情報通信技術環境整備事業費補助金(スクールニューディール)からなる国の補助金8億3千万円、県補助金2億4千万円のほか、市財源の内約2億7千万円は市債(借金)によることとなっています。

主な事業は以下のとおりです。

- ・ 高病原性鳥インフルエンザ経営支援対策事業(ウズラ農場経営再開支援事業など)⇒2億4千5百万円
- ・ 消防西分署施設整備事業(立替工事2カ年継続事業の初年度分)⇒2億2千4百万円
- ・ 地下資源館、自然史博物館運営事業(太陽光発電システム設置など)⇒6千9百万円
- ・ 小学校、中学校教育推進事業(デジタルテレビ、電子黒板購入など)⇒3億3千6百万円…など

総合計画調査特別委員会発足

豊橋市議会は総合計画調査特別委員会の設置を決め、6月28日、その第一回委員会を開催しました。今年度から豊橋市では、平成23年度からの十年間のまちづくりの指針となる「第五次総合計画」の策定に向け、その検討を始めたところです。この特別委員会は、議会として幅広い視点から調査研究し、総合計画に資することを目的に、市議会議員9名で構成されたものです。

「総合計画の基本的考え方」

総合計画とは、まちづくりを総合的かつ計画的に進めるために、長期的な目標から短期的な戦略までを明らかにするものです。これからの豊橋が目指す

姿を明らかにするという大変重要なもので、三つの部分により構成されます。一つ目は、十年ごとに見直されるもので、目指す将来都市像とこれを実現するために必要な政策や基本的な考え方を明らかにする「基本構想」。次に、五年ごとに見直され、政策の展開に必要な施策とその方針や目標を定める「基本計画」。三つ目は三年先までの主要な事業の計画を示す「実施計画」です。計画の策定に当たっては、市民の声をしっかりと取り込むための場も用意されています。無作為に選んだ五千人の市民への郵送によるアンケート、公募5名を含む学識経験者など26名の委員による市民会議などです。市民グループの

求めに応じて市の担当者が外向き意見を聞く、まちづくり意見交換会なども行っています。

委員会での発言



議会控え室にて 豊田一雄

一回の委員会で発言したので次ページにその要旨を記します。

総合計画調査特別委員会に豊田一雄も委員として参加することとなり、第

時代の変化に的確な対応策を！

第5次総合計画の策定にあたって、市民、コンサルタント、行政の三者がそれぞれどのように役割を分担するかを確認した後、三者の作業が一定の方向性を共有するために重要な意味を持つはずの資料、「第5次総合計画策定に向けた視点」について質しました。

この資料の中には「深刻化する地球環境問題」という項目はあるものの、その影響による「気候変動への適応」であるとか「食糧危機への備え」といった記述がありません。このような重要な事項の漏れがあることに対し、補足あるいは修正ということについて考えがあるのかを確認しました。答弁では「いただいたご意見等は、計画案に活かしてまいりたい」としながら、「視点」の修正を行う考えはないとのことでした。



質疑の終りには、漏れやダブリをなくすために、論理的な手法を有効活用すること、市民の描くまちづくりに向けて合理的な手法を選択するため戦略的な考え方を持つことの重要性を訴えました。合わせて、計画策定に携わった市民が、今後市民協働に積極的に取り組みたいと思えるように配慮することの必要性を指摘しました。

3月に公表された豊橋市の計画

★平和・交流・共生の都市宣言推進計画

国際協力を通じた平和への貢献、交流による国際理解の推進、多文化共生社会の実現に向けてを基本方針とし、市政施行100周年の平成18年に策定した「平和・交流・共生の都市宣言」の本旨の実現を図るもの。総合的かつ計画的な推進、連携と協働による推進を目指す。(多文化共生・国際課)

計画期間：平成21年度から25年度まで

★豊橋市多文化共生推進計画

多文化共生社会の実現に向けた基本的な考え方や関連する施策をまとめたもの。多文化共生の意識づくり、元気な地域づくり、暮らしやすいまちづくり、夢を持てる社会づくりを基本目標とする。(多文化共生・国際課)

計画期間：平成21年度から25年度まで

★豊橋市障害者福祉計画

障害者基本法に基づいた施策に関する基本的な事項を定めた計画。障害を理解しともに生きるまちづくり、社会参加を支援するまちづくり、安心な日々の暮らしを支援するまちづくり、住みよい環境を広げるまちづくりを基本目標とする。(障害福祉課)

計画期間：平成21年度から25年度まで

★豊橋市障害者自立支援事業計画

障害者自立支援法に基づく第2期障害福祉計画。必要な訪問系サービスの保障、希望する日中活動系サービ

スの保障、グループホーム等の充実と地域生活への移行促進、障害者施設から一般就労への移行促進が基本目標。(障害福祉課)

計画期間：平成21年度から23年度まで

★第4期高齢者福祉計画・介護保険事業計画

基本理念は「高齢者が健康で生きがいをもち安心して生活することができる福祉のまちづくり」。介護予防と健康づくりを通じて活動的に暮らせるまち、高齢者が生きがいを持ち充実した生活がおくれるまち、高齢者が安心して住み慣れた地域で生活できるまち、介護保険サービスの充実したまちを基本目標とする。(高齢福祉課)

計画期間：平成21年度から23年度まで

★豊橋市まちづくり景観形成基本計画

目標景観像「緑と水に包まれ、人と自然が調和した美しいまち」の実現に向けて、多様な自然と共生した安らぎのある景観、歴史を伝え文化を感じる風格のある景観、暮らしの中にふるさとを感じる落ち着いた景観、にぎわいと活力を感じる魅力ある景観を基本目標とする。市内を6つの地域に区分し、それぞれの景観特性と調和した景観形成を目指す。(都市計画課)

★豊橋市上下水道事業中期経営計画改訂版

上下水道事業の中期的な経営方針及び事業計画を示すもの。事業運営の基本方針、経営基盤強化のための取り組み、環境保全への取り組みなどを示す。前半3年を終了したので、その実施状況を踏まえて見直したもの。(上下水道局)

計画期間：平成17年度から22年度まで



市政懇談会等のお知らせ

※出前市政懇談会：3人以上の方が集まっていたら、都合のつく限り市内のどこにでも出かけます。おもて面上段の連絡先へご一報ください。

※月2回程度、メールマガジンを配信しています。ご希望の方は、下記ホームページでアドレス登録をお願いします。

<http://toyo.pbeins.net/mm.html>

清志会ニュース

http://www.geocities.jp/t_seishikai/

〇6月議会での一般質問

清志会は、5名の会員が一般質問を行いました。

岩瀬 篤議員

1. 農業関連観光振興による地域の活性化について
2. 市税について…など

佐藤 多一議員

1. 森林資源の保全と有効活用について
2. 農業・林業における人材確保・就労支援につい

て…など

原 基修議員

1. 北朝鮮危機と本市の対応について

根本 幸典議員

1. 行政改革について

久保田 正議員

1. 豊橋美術博物館について
2. 定額給付金・子育て応援特別手当について…など